

科目名	人権教育論			科目コード	5015
開講学科	教職課程	単位数	2	形態	講義
教員名	石川結加				
授業の目的及びテーマ					
1) 日本をはじめ世界に存在する差別、不平等、格差等の問題を私事として捉え、正しく理解する。2) 人権問題を国際人権基準をはじめ、国内の法律や社会制度と関連づけながら理解する。3) 現存する人権をめぐる諸課題の解決策を模索しながら、誰もが住みやすい社会の将来像を描き、教育の役割について考える。4) すでに国内で取り組まれている人権に関連する教育実践を学ぶとともに、取得した知識を使って教育現場で活かせる技能やスキルを理解する。					
授業概要					
国連が採択した人権教育関連決議や行動計画をはじめ、国内における人権教育に関わる法律及び基本計画、そして指導方法等に関するとりまとめを解説する。また、国際人権基準や日本国憲法で謳われている基本的人権を踏まえて国内の人権問題を課題別に歴史、現状、関連法及び対策、教育実践等について説明する。さらに、人権を主体的に深く学ぶため、グループワークやディスカッション等のアクティブラーニングの視点を踏まえた参加型学習法を提示する。					
授業計画					
第 1 回：人権を国際的視点から考える 法務省ホームページ YouTube『国際連合創設 70 周年 記念全ての人の幸を願って～国際的視点から考える人権～』視聴					
第 2 回：国際人権教育 国際人権規約、国際人権条約、国際人権教育関連宣言や行動計画、実施の歴史的経緯、実施関連機関のメカニズム、実践事例等。					
第 3 回：国内の人権教育 国内の法制度、基本計画、調査研究会議、指導法等の在り方に関する取りまとめ、地方自治体の取組、学校の実践事例等。					
第 4 回：いじめと自殺 「いじめ防止対策推進法」、いじめを認めない学級・学校経営、「自殺対策基本法」、安全に安心して学習できる環境作りの実践等。					
第 5 回：子どもへの暴力 児童虐待の実態、「児童虐待防止法」、被害者の支援体制、児童虐待の予防対策、児童のエンパワメント実践事例等。					
第 6 回：部落問題教育 部落問題教育（同和教育）の歴史的背景、実践事例、地域連携、国際人権教育との整合性、部落問題関連法、実態・意識調査、最近の差別事象等。					
第 7 回：インクルーシブ教育 歴史的背景、「障がい者権利条約」、国内の法整備、合理的配慮、支援教育の実践、介護等体験の意義。					
第 8 回：LGBT の視点を含めたジェンダー平等教育 ジェンダーの定義、LGBT について、性的役割分業論、「女性差別撤廃条約」、国内法制度等。					
第 9 回：多文化共生教育 世論調査、外国人住民調査、「ヘイトスピーチ解消法」、異文化交流、地域連携、自尊感情の育成、多様性の尊重、実践事例等。					
テキスト				参考文献	
評価方法：					
通信授業は提出課題（●件）を以って評価する 面接授業は受講態度、授業中提出物などにより総合的に評価する。					